

# 調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 18日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田利勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 元年 10月 30日から 10月 31日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知	
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ぢばさんセンター	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	高知県高知市において「議会活性化のための船中八策」と題した研究フォーラムが開催される。議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿について討論を行う。 議会改革を鋭意推し進める瀬戸市議会にあって、策定した議会基本条例の隨時見直しや新たな取り組みについては、他市事例を参考にすることも欠かせないポイントとなる。研修を活用したい。	
議長名の依頼	要・不要	依頼先（名称）
同行者名		山田治義・富田宗一・小沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮薗伸仁・柴田利勝・高島淳・朝井賢次・11名

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 2 年 2 月 10 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田利勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期日	令和 1 年 10 月 30 日から 10 月 31 日まで ( 1 泊 2 日)
調査先・研修名	第 14 回全国市議会議長会 研究フォーラム IN 高知
会場名(会場所在地)	高知県高知市布師田 3992-2
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	高知県において坂本竜馬にちなんだ「議会活性化のための船中八策」と題して研究フォーラムが開催された。基調講演に始まり、全国の市議会においてそれぞれの議会が取り組んだ議会改革について、事例を示しながら意見が出された。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
以下別紙	

10月30日—31日

全国市議会議長会 高知市

会長 野尻哲夫 氏

まずこれまでの国内の自然災害に対し見舞いの言葉と義援金口座を開設していることを述べられた。

今や地方分権の改革は進展しつつあり、議会に共通する議題を研究し、さらなる研修に努める事が住民の信頼を確保することとなる。高知の坂本龍馬の船中八策なることを借りて議論する。これから問題につき議会改革を進化させる事が必要である、そのために各分野の先生方に来ていただき、そしてこれからの日本の発展に欠かせない問題を研究されている東工大の中島教授に基調講演をいただいた。

どうか実りある成果が得られますように、そして皆様方の今後の活動の一助となることを祈念申し上げます。

高知市議会議長 田鍋 剛 氏

高知に来ていただきありがたい」、また、会場が工事中のため場所が違うことに申し訳ない。今回は船中八策として龍馬に習い研究し、地方に持ち帰ってもらいたい。龍馬と同じく自由闊達な会議に期待するとともに、今後の皆様の活躍を期待したい。

東京工業大学教授 中島 岳 氏

高知は自由民権運動について研究している為よく来ている、特に中江藤民について政治のマトリックスがどの様な流れの中にあるのか、保守とはどうなのかについて研究している。

価値をめぐる軸——X軸

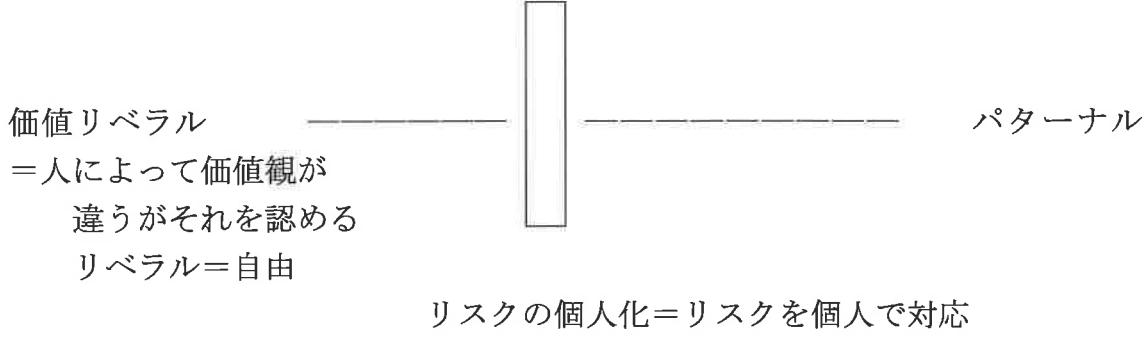
政治=二つの仕事をしている

1、 外交

2、 内政—お金をめぐる仕事

税を集めお金の使い方

リスクの社会方=リスクを社会で対応



自民党 50 年の流れ

保守の色々=それまで地方であったが、都市部に人が集中する=都市労働者となり（社会、共産=革新）が出てきた。

これをどうしたか田中内閣=福祉政策、列島改造論

大平内閣=田中は大平氏の頭の良さに気に入った。

環太平洋構想、大平は田中の人にに対する気配りに  
気に入った、田中、大平ラインを保守本流とする

昭和 50 年以降=中曾根内閣=国鉄の民営化

小泉内閣 =リスクの個人化

安倍内閣 =野党が軸足を失っている

2017 年 10 月 立憲民主党フイバー

枝野立て一立憲民主党はあなたです

2018 年 8 月 支持率低落

立憲民主党の埋没=新たな物語の欠如

2019 一年半で冷めた=自分たちの意見が認められないことに気付く

新自由主義=政治が小さくなっていく、個人化されていく→投票率の低下

ラデカルデモクラシー

討議デモクラシー=出てきた声を政治に参加する、民主主義を思い出そう

お互い意見を出し合おう

熟議デモクラシー=地方自治体→導入しやすい

保守するための改革

ニーバーの祈り=「神よ、変え事の出来るものに対しついて、それを変えるだけの勇気を我らに与えたまえ、変えられないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ、そして変えることの出来るものと変えることの出来ないものを、識別する知恵を与えたまえ」

改革とは、過去から相続した歴史的財産に対する永遠の微調整である。

以下議員改革、議員活動の実行事例を多く聞かせてもらった。今後の議員活動について考えを新たにした。